

リコール等の届出後、改善が未実施の状況で事故・火災が発生した事例一覧(14件)

No.	発生日	種類	車名	通称名	型式	原動機型式	初度登録年	走行距離	装置名	事故の内容	発生原因 (:設計・製作に起因したことが判明しているもの)	被害状況	備考
1	2009/8/4	貨物自動車	トヨタ	ダイナ・トヨエース	XZU307	S05C	2000/5	129075km	その他の装置	走行中にステアリングコラムの辺りから発煙した。路肩に止め、助手席の荷物を取り出そうとしたら発火した。	調査の結果、間欠ワイパーリレーの接点脱落に伴う出火と判断する。当該車両はリコールの対策が未実施であった。「」	【火災(人的被害無し)】	2004年8月31日、リコール届出(国-1202)
2	2009/7/30	貨物自動車	三菱	ふそうキャプター	FE71DBD3A4	4M50	2007/12	23750km	その他の装置	駐車場でフロントバンパー部を破損させ、そのまま運転したところ、フロント部より煙が出たので水をかけ消火した。	リコール届出(R2308)の対策未実施に起因した火災と判断する。「」	【火災(人的被害無し)】	2009年5月15日、リコール届出(国-2308)
3	2009/7/23	乗用自動車	スズキ	エスクード	TD01W		不明/	112810km	その他の装置	走行中、信号待ちの際に エンジンルームから出火したため、路肩に停車して消火器で消火した。	損傷状況がエアコンハーネスリコールの不具合状況と同様のため、リコールと同一の原因で火災に至ったと判断する。当該車両はエアコンハーネスリコールの対策が未実施であった。「」	【火災(人的被害無し)】	2008年4月22日、リコール届出(国-1297)
4	2009/7/11	軽乗用自動車	マツダ	スクラム	DG52V		2000/9	不明km	その他の装置	アイドリング時、コラムカバー付近から発煙し、出火した。	損傷状況がイグニッションスイッチリコールの不具合状況と同様のため、リコールと同一の原因で火災に至ったと判断する。当該車両はイグニッションスイッチリコールの対策が未実施であった。「」	【火災(人的被害無し)】	2006年4月6日、リコール届出(国-1652)
5	2009/7/2	貨物自動車	トヨタ	ダイナ・トヨエース	XZU412	S05C	2000/2	86192km	その他の装置	走行中ワイパースイッチより発煙した。走行中ワイパーが動かなくなったので、スイッチを動かしていたら煙が出た。	間欠ワイパーリレーの接点脱落に伴う出火と判断する。リコール届出の改善措置が実施されておらず、不具合に至ったものである。「」	【火災(人的被害無し)】	2004年8月31日、リコール届出(国-1202)
6	2009/6/9	乗用自動車	トヨタ	ハリアー	MCU15W-AWPGK	1MZ-FE	1998/3	70282km	その他の装置	駐車場でアイドリング停車中、エンジンルームより発煙。消火器で消火。触媒溶損、エンジンルーム一部焼損。	調査の結果、触媒が異常過熱して溶損し触媒上部の部品の一部が焼損している状態で、エンジンの空燃比センサのリコールの対策が未実施であることが確認された。以上のことから、リコールの対策が未実施であったため、触媒が異常過熱したことによるものと判断。「」	【火災(人的被害無し)】	2006年11月16日、リコール届出(国-1774)
7	2009/5/14	原動機付自転車	スズキ	アドレスV125	CF46A		2005/9	(不明)km	その他の装置	ガソリン給油後、キャップを締めようとしたが、締りに違和感を感じたため2回ほど締め直した。20分程度走行して駐車し、約10分後に発火した。	焼損状況より、リコールと同一の原因で出火したと判断する。当該車両は、リコールの対策が未実施であった。「」	【火災(人的被害無し)】	2007年8月1日、リコール届出(国-1923)
8	2009/3/31	貨物自動車	三菱		FS540VZ1	6D40	2000/2	679390km	動力伝達装置	高速道路走行中にプロペラシャフトが脱落し、後続5台を損傷させる事故が発生。警察が出動した。尚、後続車の状態はオイルパン破損1台、バンク1台、その他は不明。	リコール届出(国-2170)の対策が未実施であった為に発生したものと判断。「」	【物損事故】	2008年8月5日、リコール届出(国-2170)
9	2009/3/5	貨物自動車	トヨタ	ダイナ・トヨエース	XZU411	S05D	2000/3	168000km	その他の装置	ワイパーを操作したら、ワイパースイッチ付近から発煙、発火した。キャビンが全焼した。	間欠ワイパーリレーの接点脱落に伴う出火と判断する。当該車両はリコールの対策が未実施であった。「」	【火災(人的被害無し)】	2004年8月31日、リコール届出(国-1202)
10	2009/2/8	乗用自動車	ホンダ	ホライゾン	UBS73GWH	4JX1	1999/4	109405km	原動機	走行中、勝手にエンジン回転が上昇して曲がりきれず、塀に接触した。	滑経路に燃料が混入し、オイルがPCV経路から燃焼室へ入り、オイルが燃焼するような異常燃焼運転が発生したと推定する。当該車両は、リコールの対策が未実施であった。「」	【物損事故】	2003年7月23日、リコール届出(国-0966)

No.	発生日	種類	車名	通称名	型式	原動機 型式	初度 登録年	走行距離	装置名	事故の内容	発生原因 (設計・製作に起因したことが判明しているもの)	被害状況	備考
11	2009/1/28	軽乗用自動車	ホンダ	THATS	JD1	E07Z	2007/4	6911km	その他の装置	使用者より、駐車してキーを抜き降車していると、車両が後退を始め、開けていた運転席ドアが足に当たり転倒して右足首を捻挫した。車両はそのまま後退しブロック塀に接触して停止したとの訴えがあった。	キーインターロックソレノイド駆動回路確認結果、トランスジスタのベース抵抗が増加しており、キーインターロック機構が作動せず、Pポジション以外でもキーシリンダからキーが抜け、事象に至ったと判断する。当該車両は改善対策の対策が未実施であった。「」	【軽傷:1名】	2009年1月22日、改善対策届出(改善対策-376)
12	2009/1/8	原動機付自転車	スズキ	アドレスV125	CF46A		2005/7	16819km	その他の装置	エンスト、セントスタンドを立てたところシート下より発煙し、シートを開けたら発火した。	燃料により給油口が膨潤して燃料タンクキャップの締め付けが重くなり適切に締め付けられなくなったため、給油口から燃料が漏れ、静電気等により引火し、火災に至ったと判断。当該車両はリコールの対策が未実施であった。「」	【火災(人的被害無し)】	2007年8月1日、リコール届出(国-1923)
13	2009/1/5	貨物自動車	三菱	ふそう	FV50JJXD3	6M70	2008/10	1523km	原動機	走行中バーンと大きな音がし、クラッチを切ったらエンジン停止し、ガードレールに接触し車両が停止した。車両を降りて電話をしていたら、エンジンルームから火がでた。消防にて消火。キャブ含め、車両前方全焼。	燃料供給ポンプの内部に発生した亀裂から燃料が漏れ、エンジンオイルに混入し、燃料の混入したエンジンオイルが漏れ火災となったと判断。当該車両はリコールの対策が未実施であった。「」	【火災(人的被害無し)】	2008年12月11日、リコール届出(国-2234)
14	2008/11/	貨物自動車	ニッサン	キャラバン	E25	ZD30DDT1	2004/6	(不明)km	その他の装置	高速道路でガリガリと異音がして、出口で走行が不能、タイヤが外れかかり、出火した。ペットボトルのお茶で消火した。	リコール届出(国-2119)の対策が未実施であった為に発生したものと推定。「」	【火災(人的被害無し)】	2008年5月30日、リコール届出(国-2119)

(注1) 国土交通省のホームページにおける公表情報に基づき、消費者委員会が作成した。

(注2) 国土交通省のホームページ(<http://www.mlit.go.jp/jidosha/carinf/rcl/cgi-bin/search.cgi>)における事故・火災情報検索により閲覧できる1,457件の事例について、その備考欄にリコール等の届出との関連が記載されているもの(35件)のうち、リコール等の届出後、改善措置が未実施の状況で事故・火災が発生した旨が記載されている事例(14件)について、ホームページの掲載内容から転記してまとめた(平成22年8月23日現在)。